



▲ごみの分別について説明を受ける参加者
(クリンクルセンター)

ごみの分別の大切さが分 かりました ～市民見学会～

5月26日(土)、29日(火)、6月1日(金)の3日間、市民見学会が行われました。

この市民見学会は、登別のまちづくりの様子を市民のみなさんにもっと知っていただき、市政に対する理解を深めていただくため、市が毎年、春と秋に開催しているもので、3日間で69の方が参加しました。

参加者は、昨年完成したクリンクルセンターや廃棄物管理型最終処分場をはじめ、若山浄化センター、特別養護老人ホーム『緑風園』などを見学。

参加した中央町の館山みやこさんは「クリンクルセンターは素晴らしい施設。ごみや空き缶、ビンなどの処理作業を見て、一人ひとりがリサイクルやごみの分別を徹底しなければならないと感じました。いろいろな施設を見学させていただき勉強になりました」と感想を話していました。



▲汚水の処理について説明を受ける参加者 (若山浄化センター)

家庭や地域住民も参画し た学校運営を ～学校評議員委嘱状 交付式～

5月23日(木)から6月7日(木)にかけて、市内の6中学校区で『学校評議員』の委嘱状交付式が行われました。

この『学校評議員』は、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進を目的に今年度から新たに導入されたもので、教育に関する理解や識見を有する地域の方に委嘱されます。今年度は、83の方に学校評議員が委嘱され、学校が保護者や地域住民などの信頼にこたえ、地域の特色を生かした創意工夫ある教育活動を行うことができるよう、幅広い視点から学校へ意見や助言を行いながら学校運営に参画していきます。



満開の桜と懐かしい遊び を満喫 ～御衣黄まつり～

5月26日(土)、満開の桜が美しい郷土資料館で開館20周年を記念した『御衣黄まつり』が開催され、親子連れなど約700人の市民が訪れました。

午前中はあいにく小雨模様の天候。それでも開館の10時から、ぞくぞくと市民が訪れ、雨にぬれしっとりとした風情の桜に見入ったり、茶道体験やせんべい焼き、手打ちそば試食などのコーナーを回りながら、催しを楽しみました。

午後には雨も上がり、昔の遊びや流鏝馬体験も庭園で行われました。子どもにこまを回して見せる父親や、懐かしげにあや取りをする母親の姿も見られるなど、訪れた市民は、春の一日、桜にちなんだ催しを楽しんでいました。



我が子の誕生に備え、育 児体験 ～すこやかマタニティ教室～

5月20日(木)と28日(月)の2日間、総合福祉センターしんた21で『すこやかマタニティ教室』が開かれ、夫婦など10人が参加しました。同教室は、妊娠期からの子育てについて正しい知識を学ぶほか、妊婦同士の交流を深めることなどを目的に行われているもので、今回は家族の方も参加できるよう日曜日にも開催し、もく浴やおむつ交換、妊婦体験などを行いました。

参加した小室雅人さん・恭子さん(鷺別町)ご夫婦

は、「妊婦体験でおもりを体につけたときすごく重く感じ、妻の大変さが分かりました。不安なことが多かったのですが、参加していろいろ体験できてよかったです」と、我が子の誕生を楽しみにしていました。

